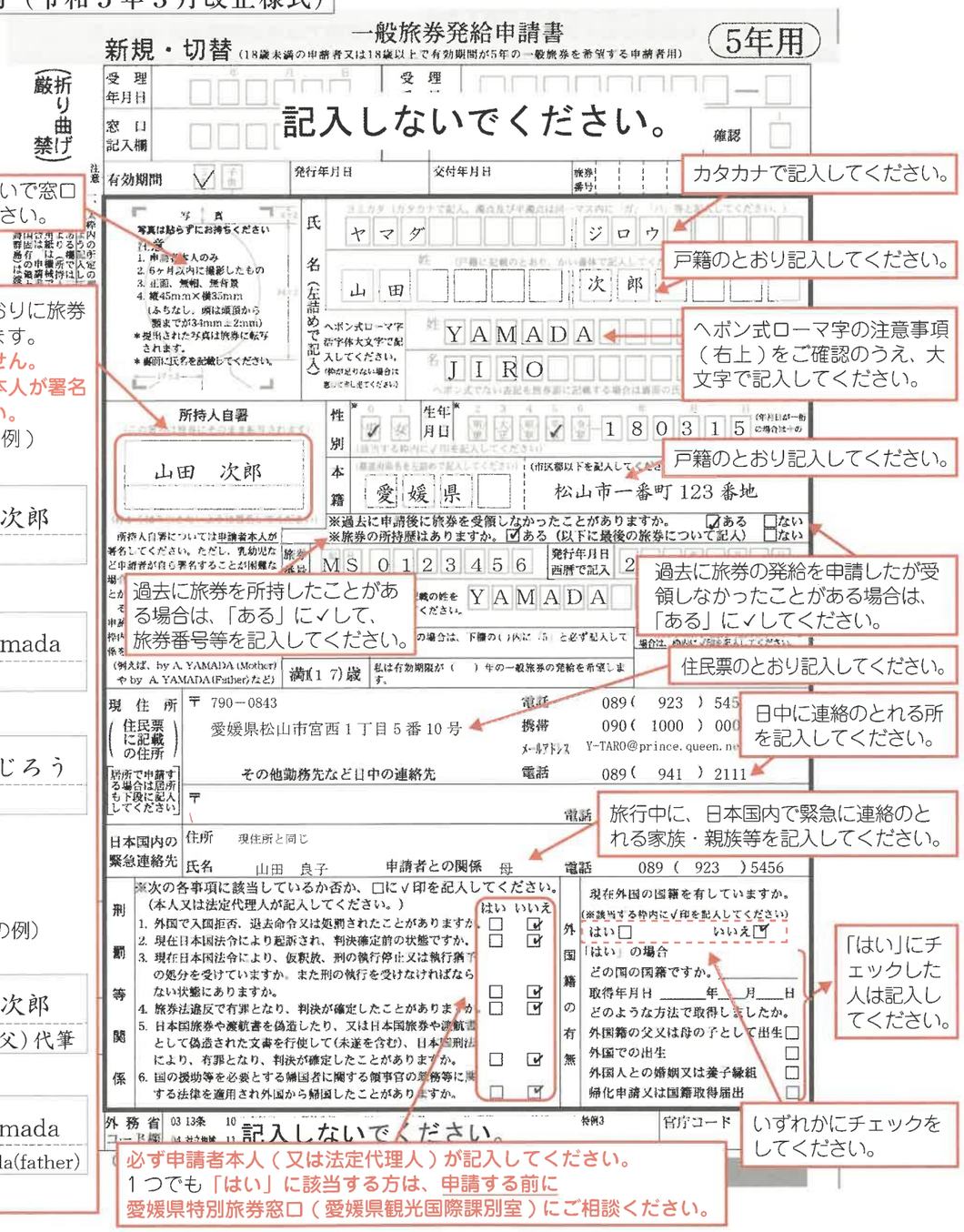
■ 一般旅券発給申請書の記入方法

○申請書は、**黒又は青の濃いインク（ボールペン等）で、所定の枠内に楷書体で申請者が記入してください。**
※文字つぶれや裏写りするサインペン フリクションボール等の消えるインクは不可。
○申請書は、機械で読み取りますので、折れたり汚れたりしたときは、使用できなくなります。
○写真と所持人自署欄の署名は、旅券に転写されます。
○記入ミスしたときは、二本線で消して訂正してください。
ただし、所持人自署欄は訂正できないので、新しい申請書に書き直してください。
○次の囲みの箇所は、必ず、それぞれ該当する方が署名・記入してください。
［　：申請者本人　：法定代理人　：引受人］
ただし、申請者が、乳幼児で署名できないときは、法定代理人が代筆できます。各欄の記入例を参考に記入してください。また、申請者が、障がいなどで署名できないときは、事前に窓口へご相談ください。

記入例（令和５年３月改正様式）



例１
山田　次郎

例２
Jiro Yamada

例３
やまだ じろう

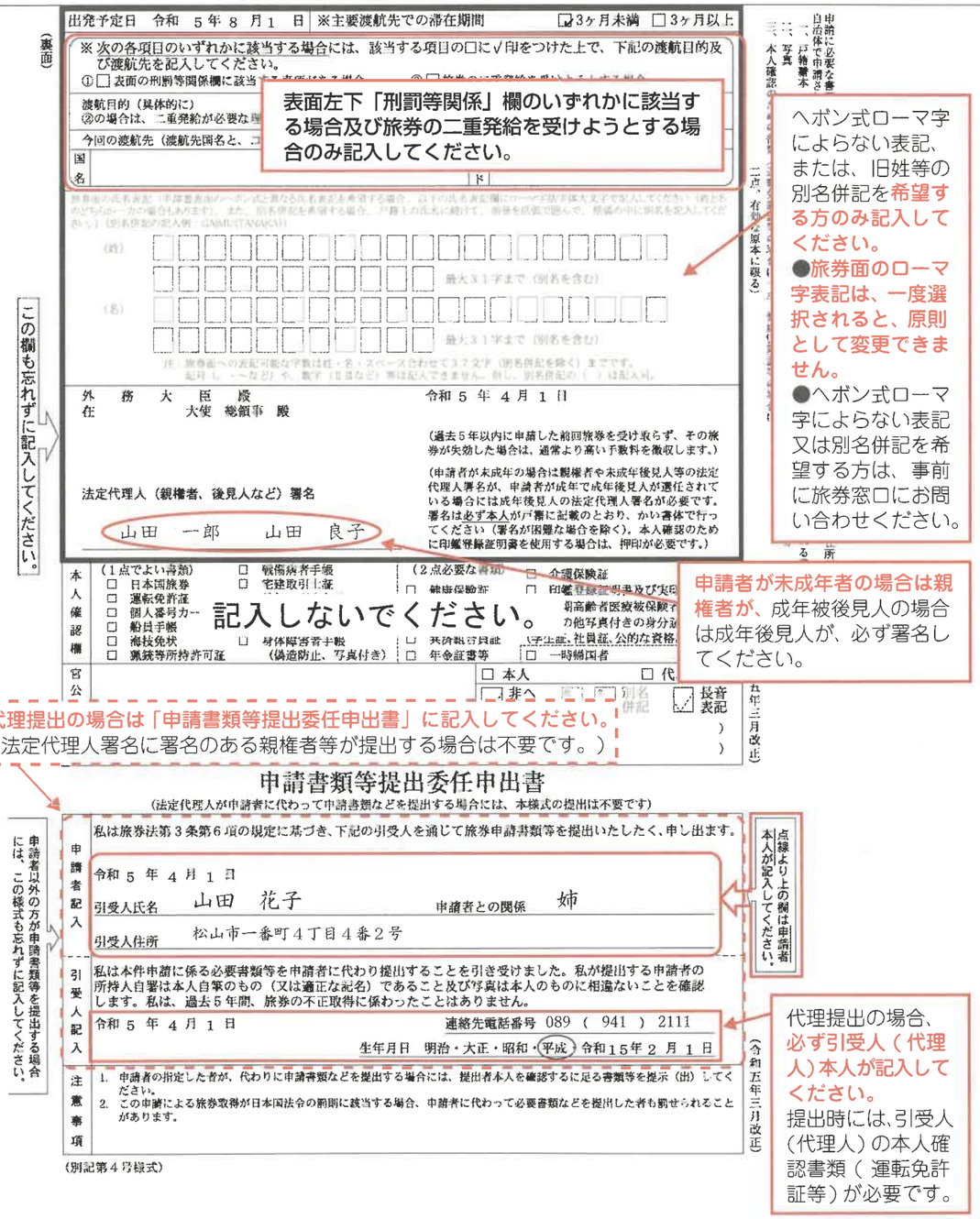
（代理署名の例）
例１
山田　次郎
山田一郎（父）代筆

例２
Jiro Yamada
by I. Yamada(father)

注）申請書への虚偽の記載等不正行為により申請をしたり、旅券の交付を受けたときは処罰されます。
（旅券法第 23 条及び刑法第 157 条）

ヘボン式ローマ字の注意事項

○次のヘボン式ローマ字は、間違いやすいので注意してください。

し	SHI	ち	CHI	つ	TSU	ふ	FU	じ・ぢ	JI
ず・づ	ZU	しゃ	SHA	しゅ	SHU	しょ	SHO	ちゃ	CHA
ちゅ	CHU	ちょ	CHO	じゃ	JA	じゅ	JU	じょ	JO

○外国式氏名の「ヴ」は、ヘボン式ローマ字は BU となります。（「ブ」と同じ表記となります。）
○長音（おお・おう）長音発音する O・U は表記しません。（例）おおの→ONO ようこ → YOKO
○撥音（ん）B・M・P の前の N は M に変わります。（例）せんば→SEMBA ほんま→HOMMA
○促音（つ）子音を重ねます。（例）はっとり→HATTORI べっぷ→BEPPU
※ただし、「ち」の C は T に変わります。（例）ほっち→HOTCHI はっちょう→HATCHO
○その他、ヘボン式ローマ字以外の例外的な表記（OH, OU、外国式の綴りなど非ヘボン式表記）を希望される場合は、一般旅券発給申請書の裏面へ記入が必要となりますので、**事前に窓口へご相談ください。なお、最初の申請で使用した氏名のローマ字表記は、原則として変更できません。**